コンクリート防食被覆工法

ショウゼット® NC（ノンクロス工法）

日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」
C種、D_1種品質規格対応

特　長

■ノンクロス仕様により、一般的なエポキシ樹脂+補強層仕様と比べ工期短縮が可能です。
■ 厚塗り可能なエポキシ樹脂を使用する事で、塗膜厚さを確保できます。

標準仕様

C種対応　ショウゼット®ノンクロスC工法

工　程	使用材料	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整※	ショウゼット® SA-1	1.0	金コテ等	—
中塗り	ショウゼット® NC	0.4	金コテ等	0.7mm以上
中塗り	ショウゼット® NC	0.3	金コテ等	
上塗り	ショウゼット® NCトップコート	0.2	ローラー等	

※素地調整　エポキシエマルション系ポリマーセメントモルタル

C種対応　ショウゼット®ノンクロスC-EP工法

工　程	使用材料	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整※	ショウゼット® SA-EP	0.8	金コテ等	—
中塗り	ショウゼット® NC	0.4	金コテ等	0.7mm以上
中塗り	ショウゼット® NC	0.3	金コテ等	
上塗り	ショウゼット® NCトップコート	0.2	ローラー等	

※素地調整　エポキシ樹脂パテ材

D_1種対応　ショウゼット®ノンクロスD_1工法

工　程	使用材料	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整※	ショウゼット® SA-1	1.0	金コテ等	—
中塗り	ショウゼット® NC	0.5	金コテ等	1.3mm以上
中塗り	ショウゼット® NC	0.5	金コテ等	
中塗り	ショウゼット® NC	0.4	金コテ等	
上塗り	ショウゼット® NCトップコート	0.2	ローラー等	

※素地調整　エポキシエマルション系ポリマーセメントモルタル

D_1種対応　ショウゼット®ノンクロスD_1-EP工法

工　程	使用材料	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整※	ショウゼット® SA-EP	0.8	金コテ等	—
中塗り	ショウゼット® NC	0.5	金コテ等	1.3mm以上
中塗り	ショウゼット® NC	0.5	金コテ等	
中塗り	ショウゼット® NC	0.4	金コテ等	
上塗り	ショウゼット® NCトップコート	0.2	ローラー等	

※素地調整　エポキシ樹脂パテ材

本製品は ISO 9001 認証事業所において製造されています。

荷　姿

品　名	荷　姿		配合比（重量比）	配合密度 （25℃,g/cm3）
ショウゼット®SA-1	主剤2kg 硬化剤2.5kg 粉体12kg	16.5kgセット	（主剤）:（硬化剤）:（粉体） 1 : 1.25 : 6	1.78
ショウゼット®SA-EP	主剤20kg 硬化剤10kg	30kgセット	（主剤）:（硬化剤） 2 : 1	1.57
ショウゼット®NC	主剤12kg 硬化剤4kg	16kgセット	（主剤）:（硬化剤） 3 : 1	1.13
ショウゼット®NCトップコート	主剤12kg 硬化剤4kg	16kgセット	（主剤）:（硬化剤） 3 : 1	1.13

注意事項

〈施工上の注意〉
①下地の表面含水率は5%※以下であることを確認して下さい（ショウゼット® NC、NCトップコート、SA-EP）
　※コンクリート、モルタル用高周波静電容量式水分計HI-500,HI-520（ケット科学研究所）、もしくはそれに準ずるものでの数値。
②気温が5℃以下、35℃以上、湿度が85%以上の場合は作業を中止するか、環境改善処置を行った上で施工してください。
③攪拌混合不良になると硬化不良の原因になりますので、攪拌には十分注意してください。
④温度及び湿度が高い程、配合量が多い程、可使時間は短くなります。
⑤施工については各工法の標準施工要領書をご参照ください。

〈応急措置〉
①吸入した場合
　大量に吸入した場合は被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、毛布等で保温して安静に保つ。必要に応じ医師の処置を受けてください。
②皮膚に付着した場合
　汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ、触れた部分を最初にアルコールやアセトン等の溶剤を浸した布で良く拭いてください。
　その後水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を用いて良く洗い落としてください。
　皮膚に炎症が生じた場合は速やかに医師の処置を受けてください。
③目に入った場合
　清浄な水で最低15分間洗眼した後、ただちに眼科医の処置を受けてください。洗眼の際、瞼を指で良く開いて、瞼、眼球の隅々まで水が良くいきわたるように洗ってください。
④飲み込んだ場合
　すぐに医師の処置を受けてください。もし被災者が意識不明や痙攣を起こしている場合には、口から何も与えてないでください。

〈火災時の措置〉
①初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器や乾燥砂を用いてください。大規模火災の際は、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効です。
　消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用してください。

〈漏出時の措置〉
①小量の場合
　布や砂などに吸収させて容器に回収してください。
②大量の場合
　土砂等で堰を作って流出の防止を図ると共に、火源を断ち消火用機材等を準備し、火災発生の防止に努めてください。
　保護具を着用して漏出液を可能な限り容器に回収してください。
　残った液は土砂、布等で拭き取り容器に回収してください。河川、下水、排水路等に流さないでください。

〈取扱い及び保管上の注意〉
①取扱い
　火気、衝撃火花などによる着火源を生じないようにしてください。
　取扱い作業は局所又は全体排気設備のある場所で行ってください。
　保護具（保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等）を着用してください。
　容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える等の乱暴な取扱いを行わないでください。取扱い後は手洗い、うがいを十分行ってください。
②保管
　火気厳禁にしてください。火気、衝撃火花などによる着火源により、火災の原因となります。
　容器に漏れのないことを確認し、密閉してください。
　直射日光、水分の混入、高温物の近くを避け一定の保管場所を決めて保管してください。
　使用時以外は必ず適法な施設内に保管してください。
　倉庫以外に保管する場合は必ず子供の手の届かない所定場所に保管してください。

〈廃棄上の注意〉
廃棄する場合は、専門の産業廃棄物取り扱い業者に依頼して処理を行ってください。

〈輸送上の注意〉
①包装容器が破損しないように積載し、荷崩れの防止を確実に行なってください。
②直射日光、水分の混入、高温物の近くを避けてください。
③消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法を厳守してください。

詳細は製品安全データシート（MSDS）取扱説明書を参照するか、下記営業所にお問い合わせください。

このカタログの記載内容は'15.5月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
カタログに記載の数値は標準値であり保証値ではありません。

昭和電工建材株式会社

■本社･建設資材営業部　〒221-0024　横浜市神奈川区恵比須町2-1　TEL（045）444-1691　FAX（045）444-1699　http://www.sdk-k.com

■仙 台 営 業 所　〒983-0044　仙台市宮城野区宮千代3-2-14　TEL（022）236-7108　FAX（022）283-0694
■名 古 屋 営 業 所　〒460-0008　名古屋市中区栄2-9-26　TEL（052）218-8085　FAX（052）202-1202
■大 阪 営 業 所　〒532-0011　大阪市淀川区西中島6-5-3　TEL（06）6100-2202　FAX（06）6100-1232
福 岡 営 業 所　〒812-0025　福岡市博多区店屋町5-22　TEL（092）281-9881　FAX（092）281-9505
■関東SCMセンター　〒120-0024　足立区千住関屋町1-4　TEL（03）3881-5001　FAX（03）3870-3952
東北SCMセンター　〒983-0034　仙台市宮城野区扇町1-7-2　TEL（022）231-2070　FAX（022）231-2073
中部SCMセンター　〒452-0837　名古屋市西区十方町172　TEL（052）501-2421　FAX（052）501-2424
関西SCMセンター　〒567-0058　茨木市西豊川町14-3　TEL（072）641-6399　FAX（072）641-6401

［■ ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所］